

HRガイド

社員の「巻き込み力」を高める方法

～自らカラを破り、活躍の幅を拡大させるには～

(株)リアリゼ 代表取締役／NPO 法人日本サーバント・リーダーシップ協会理事長 真田 茂人

■ 内向きからの脱却は待たなしの課題

「余計な口出しをして周りに迷惑をかけたくない」「自分の仕事はやっているからそれでいいだろう」「うちの部は完璧だ、他部署のことまでは知らない」等、内向きの弊害がいわれて久しい。裏を返せば「それ以上のことはしない、できない、やりたくない」と頑なに消極姿勢に閉じこもっている状態ともいえる。ただ、「残念な奴だ」「しょうがない連中だ」「ああいう人だから」と放ってはおけない外部環境の変化も差し迫っている。内向きにとどまる限り、社員個人も会社組織も成長できず、早晚限界を来してしまうことに多くの企業が気づきはじめたと推察される。

そこで、注目されるのが「巻き込み力」だ。新人・若手が先輩・上司に協力を仰ぎ、管理者たちが他部門や他社の関係者を味方につけて成長していく姿が望まれる。まずは、その行動メカニズムと人材活性化の仕掛けを理解しておきたい。様々な職場にありがちな人間関係や心理状態を紹介しながら、個々のスキルを鍛え、組織的に発揮させていく仕組みや研修運営のヒントを専門家の知見で解説してもらった。理屈・正論だけでは動かない「人」の理解が第一歩といえそうだ。(編集部)

CONTENTS

■「巻き込み力」がビジネスのカギになる時代

1. ビジネスは1人の力では完結しない
2. 階層を問わずに必要な「巻き込み力」

■「巻き込み力」が発揮できないよくあるケース

1. そもそも主体性の低い人
2. そもそも「巻き込む」ことの必要性を感じていない人

■「巻き込む意志」を醸成する

1. 人は道徳や正論だけでは動かない
2. 現在の自分の巻き込み状況を自己認識させる
3. イメージを膨らませる
4. 大義はあるか？

■人を巻き込むための「人の行動のメカニズム」を知ろう

1. 議論はご法度
2. 「人の行動のメカニズム」とは
3. 人はなぜ他人のために動くのか？
4. 人を動かす5つの欲求

■コミュニケーションを高める3つのスキル

1. 人間関係スキル
2. 情報マネジメントスキル
3. 対話スキル

■「巻き込み力」研修の流れ

■真田茂人（さなだしげと）：

早稲田大学商学部卒。株式会社リクルートなどを経て、人材開発・組織開発専門企業の株式会社リアリゼ設立。2009年日本サーバント・リーダーシップ協会理事長就任。心理学やシステム思考をベースにした人材開発および組織開発のコンサルタントを展開。サーバントリーダーシップの普及を通じ、日本を再生し、グローバルに通用するリーダーの育成にも力を入れている。『魅力的な組織を創るリーダーのための「自律」と「モチベーション」の教科書』『組織づくりの教科書—成長し続ける組織のリーダーが実践していること』『大手企業から引っ張りだこの超人気講師が教える研修講師養成講座』他、著書多数。

■株式会社リアリゼ：

●〒108-0073 東京都港区三田1丁目2-22 東洋ビル6F

●TEL：03-6722-6677

●URL：http://www.realiser.co.jp/

